

## 船舶事故調査報告書

平成21年9月10日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員長 後藤 昇 弘  
 委員 楠 木 行 雄  
 委員 横 山 鐵 男（部会長）  
 委員 山 本 哲 也  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	平成20年9月29日 04時15分ごろ
発生場所	静岡県西伊豆町 田子島灯台から真方位190° 1,170m付近 （概位 北緯34°48.56′ 東経138°44.69′）
事故調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>しゅうき</sup> 周木丸、0.4トン SO3-23073（漁船登録番号）、個人所有 4.77m(Lr)×1.44m×0.61m、FRP ガソリン機関、漁船法馬力数30、不明
乗組員等に関する情報	船長 男性 77歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年7月11日 免許証交付日 平成16年12月1日 （平成22年8月16日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	右舷船尾ガンネル一部欠損、スパンカマスト折損、船外機損傷
事故の経過	本船は、平成20年9月29日03時40分ごろ、船長が1人で乗り組み、西伊豆町田子漁港を出港し、同漁港沖の田子島南側でえび刺網の揚網作業中、突発的な大波に遭い、04時15分ごろ転覆した。 船長は、行方不明となり、翌30日10時ごろ田子島東側で救命胴衣を着用していない状態で発見された。 船長は、右側多発性肋骨骨折により臓器が損傷し、出血性ショックにより死亡したと検案された。 本船は、転覆状態で田子漁港にえい航された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 1、気温 16.8℃ 海象：有義波高 2.0m、最大波高 3.58m
その他の事項	本事故発生当時、伊豆半島南西岸には南西方から波高約2mのうねりが寄せていたが、田子漁港沖では数隻のえび刺し網漁の漁船が操業していた。 地元の漁業関係者は、地形の関係などから、田子島南側では波浪が一段と高まることをよく知っていた。

	<p>僚船は、本船が大波を受けて転覆するところを目撃し、また、別の僚船船長は、船長から携帯電話で救助の要請を受けたが、本件発生場所付近には引き続き大きな波浪が生じていたため、近づくことができなかった。</p> <p>船長は、ふだんは救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>あり</p> <p>本船は、揚網作業中、突発的な大波を受けて転覆したものと考えられる。</p> <p>船長は、右側多発性肋骨骨折により臓器が損傷し、出血性ショックにより死亡したものと考えられる。</p> <p>船長は、本船が転覆したときなどに右側胸部を強打した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、田子漁港沖において、本船がえび刺網の揚網作業中、大波を受けたため、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>	